

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

○1月観光情報

【光の花の庭 フラワーファンタジー2022】

関東最大級500万球を超えるイルミネーションに彩られた幻想の世界。

夜景観光士が選ぶイルミネーションランキングでは7年連続で全国1位に輝きました。

100,000㎡の園内に500万球を超えるイルミネーションが瞬き、訪れる方々に毎年心温まる感動を与えています。

「光のバラ園」や「光の睡蓮」がパーク内を華やかに彩り、「光と花に彩られた幻想的なお城・フラワーキャッスル」もその鮮やかかつ繊細な光で訪れた人たちに大きな感動を与えます。神秘的な大藤棚も花びら一枚一枚をイルミネーションで再現しており、その美しさに、期間中は連日SNS等への写真の投稿が相次ぎます。

日 時:10月15日(土)～2月14日(火)

(平日)午後3時30分～午後9時

(土・日・祝)午後3時30分～午後9時30分

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

料 金:(夜間料金) 大人1,200円、小人600円

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約30分

(当面の間、シャトルバスの運行は休止となっております。)

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約18分

【伊萬里の小品をもっと楽しむ -小皿・小鉢・茶碗】

取り皿や醤油皿など、使い方によってはさまざまなよばれ方をする小ぶりの皿と、向付とも称される小さな鉢、手のひらに収まるように作られた茶碗類、これはいずれも日常の食卓に欠かせないうつわです。遡って、一人ずつの膳で食事をするという形式であった江戸時代、各自の膳に収まるように作られたうつわは、現代の私たちが想像する以上に重要な食生活のアイテムでした。

今回の特集では、天塩皿ともよばれる小皿と人気の猪口を含めた小鉢類、蓋付茶碗などの展示の他、前回の展示で紹介できなかった品々、50点ほどを展示しております。

日 時:令和5(2023)年2月26日(日)まで

当面の間、時間短縮で開館しますので詳細につきましてはお問い合わせください。

午前10時～午後4時30分(最終入場は午後4時まで)

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)、年末年始(12月27日～1月2日)

場 所:栗田美術館(駒場町)

入館料:一般1,250円(1,000円)/小・中・高500円(400円) ()内は20名以上の団体料金

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩10分

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

東武伊勢崎線足利市駅より車で約15分
北関東自動車道足利ICより約15分

【滝流しの式】

大岩山毘沙門天では、悪口祭りが終わり、元日の0時になると、国家の安泰、家内安全、商売繁盛をはじめとした諸願成就の大護摩の祈願を行います。その際に「滝流しの式」が行われます。

お神酒を「滝のように」額から受け大盃で飲み干すことで福やご利益が滝のごとく尽きないようにと執り行う儀式で、江戸時代前期の寛永年間(1624～1643)に始まったと伝えられています。

例年、参加者は毘沙門天の前に正座し、直径30センチ以上もある大きな朱盃を口にあてます。そこへ酒器を持った住職が祈願者の額から御神酒を注ぎ、額から鼻へと滝のように御神酒が流れ朱盃へ注がれていきます。自分が飲める量が朱盃に入ったら左手をあげて合図。住職が御神酒を注ぐのを止めるのと同時に祈願者は朱盃に入った御神酒を一気に飲み干します。願い事や無病息災を叶えたいと毎年祈願者が絶えません。

今年は、昨年同様、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、滝流しセット(食べられる墨で住職様が梵字を書き入れ祈願した「かわらけ」と「お神酒」をご用意)を祈願後にお授け致します。ご自宅で毘沙門天様のご利益を体の中にお収め下さい。

また、毎年1月1日6時50分頃、元旦の日の出とともに「初日の出遥拝式」も行います。ご自由にご参加いただけます。

「滝流しの式」

日 時:1月1日(日・祝)0時～

「初日の出遥拝式」

日 時:1月1日(日・祝)6時50分頃(日の出とともに)

「新春護摩修行」

日 時:1月1日(日・祝)～3日(火)6時、8時、10時、13時、15時 毎回ご祈願を受け付けています。

場 所:大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

JR両毛線足利駅より車で約25分

JR両毛線山前駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約30分

北関東自動車道太田・桐生ICより約40分

問合せ先:大岩山多聞院最勝寺 ☎0284-21-8885

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【鑱阿寺】

毎年、大晦日から初詣の参拝客で賑わう鑱阿寺。
密を避けるため、本堂前(屋外)に御護摩受付を設置しております。こちらで御護摩の受付をお願いいたします。

また、スロープの左右に体温計・消毒を設置しております。

体温計はAIカメラになっておりますので、ご自身の姿を画面に写し、体温測定をしていただけますようお願いいたします。

熱が無ければ、手指の消毒をされて参拝へとお進みください。

お正月の大護摩修行の日程は下記の通りです。

1月1日(日・祝)	午前0時、10時、11時、午後1時、2時、3時
1月2日(月・祝)～3日(火)	午前0時、10時、11時、午後1時、2時、3時
1月4日(水)～5日(木)	午前10時30分、午後12時、1時30分、3時
1月8日(日)以降	午前10時30分、午後12時、1時30分、3時

場 所:足利氏宅跡 鑱阿寺

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩15分

JR両毛線足利駅より徒歩10分

北関東自動車道足利ICより約10分

問合先:鑱阿寺 ☎0284-41-2627

【足利織姫神社歳旦祭(初日の出を拝む会)】

足利織姫神社では、例年、1日午前6時30分より威勢の良い奉納太鼓の音とともに初日の出を拝む会を執り行います。

しかし、今回は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、関係者による神事のみを執り行う予定です。

問合先:足利織姫神社奉賛会 ☎0284-22-0313

【足利七福神めぐり】

足利は古くから織物のまちとして栄え、商売が盛んに行われてきました。

そのような歴史風土のなかで、まちの繁栄と家運の隆昌、健康増進はかつてから足利の人々の願いでした。これを受けて、昭和17年から始まった『足利七福神めぐり』。第二次世界大戦中に中断しましたが、昭和62年のお正月に復活し、現在の協力社寺は18か所となっています。

名所旧跡や、豊かな自然、歴史を感じることができる『足利七福神めぐり』。皆さんもぜひ巡ってみませんか。

コースは、東西約17.5km、南北約14kmの範囲内に関係社寺18社寺が点在しています。太平記館を起点にした各社寺までの凡その距離をご案内します。

また、最短距離で巡れる市街地内の七福神巡りは、一周約8km、徒歩で約3時間です。下記<市街地七福神巡り徒歩コース>をご覧ください。

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

太平記館…3.8km…徳蔵寺(三面大黒天)、太平記館…4.3km…正善寺(弁財天)、
太平記館…7.1km…大岩山多聞院最勝寺(毘沙門天)、
太平記館…13.9km…名草巖島神社(弁財天)、
太平記館…0.4km…伊勢神社(寿老人)、太平記館…1.95km…龍泉寺(布袋尊)、
太平記館…4.5km…萬福寺(恵比寿神)、
太平記館…9.1km…寺岡山元三大師(毘沙門天)、
太平記館…2.2km…總社八雲神社(大黒天)、太平記館…8.0km…東光寺(大黒天)、
太平記館…2.8km…吉祥寺(弁財天)

<市街地七福神巡り徒歩コース>

太平記館…0.35km…大黒天(鑿阿寺)…1.2km…寿老人(心通院)…0.4km…
弁財天(本城巖島神社・明石弁天)…2.0km…福祿寿尊(長林寺)…0.7km…恵比寿神(西宮
神社)…1.0km…毘沙門天(常念寺)…0.29km…布袋尊(福巖寺)…2.0km…太平記館

また、今年も七福神スタンプラリーの開催が予定されています。太平記館にてスタンプラリー台紙をお渡しいたしますので、その台紙に七福神社寺のスタンプをお集めください。年の初めの足利七福神巡り、是非お楽しみください。

日 時:1月4日(水)～1月29日(日)(予定)

場 所(スタンプラリー台紙お渡し・応募先):太平記館(足利市伊勢町)

交 通:JR両毛線足利駅より徒歩で約5分

東武足利市駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより約15分

北関東自動車道太田桐生ICより約30分

東北自動車道佐野藤岡ICより約30分

問合せ:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【厄除け】

足利の厄除け大師では、新年に厄除け大祭を行います。

☆寺岡山元三大師(薬師寺)

新年、寺岡山元三大師では、皆様の厄除け・開運成就を願い寺岡山元三大師正月大祭を開催いたします。

奈良朝の頃に建立されたといわれ、崇保院宮一品公寛法親王の御真筆である日本に三幅しかない(他は比叡山延暦寺、東叡山寛永寺)元三慈恵大師尊影の御掛け軸を安置する祈願寺です。

なお、正月大祭につきましては、様々な感染症拡大防止策を講じながら開催いたします。

日 時:1月1日(日・祝)午前0時 御本尊御開帳・一番大護摩祈願(住職大導師)

1月2日(月)・3日(火)午後12時 福運お種子銭まき式(コロナの状況により開催の変更あり)

1月2日(月)・3日(火)午後1時 無料子供くじ引き

1月3日(火)午前8時～午後5時 秘仏降魔大師坐像特別ご開帳

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

場 所:寺岡山施薬院薬師寺(足利市寺岡町)
交 通:JR両毛線富田駅より徒歩で15分
東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分
北関東自動車道足利ICより約20分
東北自動車道佐野藤岡ICより約20分
問合せ先:寺岡山元三大師 ☎0284-91-3236

☆足利厄除大師大祭(龍泉寺)

助戸龍泉寺では、新年に厄除大師大祭を行います。

角大師と呼ばれるお姿は、「我が影像を置くところに悪魔・災厄がない」とされ、正月にそのお札を門戸に貼る信仰が生まれました。

足利厄除大師大祭は開山以来の行事で800年以上の歴史を持ちます。縁起ガラマキ式やダルマ市は大勢の人で賑わいます。

日 時:厄除祈願1月1日(日・祝)～2月3日(金)

一年の厄を払い平穏な一年を祈願します。

新型コロナウイルス感染症対策を講じると共に、参拝者へ「疫病退散の角大師門札」を本堂にて授与致します。オンラインでのご祈願もお受けする予定です。

(詳細はHPで)

ダルマ市 1月2日(月)・3日(火)午前9時～午後4時

福授け縁起ガラマキ式 1月2日(月)午後1時～

1月3日(火)午前11時～・午後3時～

場 所:龍泉寺(足利市助戸1丁目)

JR両毛線足利駅より車で約5分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約7分

北関東自動車道足利ICより約7分

問合せ先:龍泉寺 ☎0284-41-5685

☆宝性寺(堀込薬師)

堀込薬師 宝性寺では元旦からの4日間、大護摩厳修を執り行います。特に毎年1月4日は「厄除大祭(お薬師様のご縁日)」として、境内に露店が出て1万人近い参詣者で賑わいます。

この堀込薬師には八木節を全国に広めた堀込源太のお墓があり、その墓前にて、地元堀込町八木節保存会の皆様による八木節の奉納が行なわれる予定ですが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては縮小しての開催や中止となることもございます。

日 時:1月1日(日・祝)～1月3日(火)午前9時～午後4時 大護摩厳修

1月4日(水)午前7時30分～午後4時30分 大護摩厳修「厄除け大祭(お薬師様のご縁日)」

1月5日(木)～1月20日(金)午前9時～午後4時 年頭祈願

場 所:宝性寺(足利市堀込町)

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

交通:北関東自動車道足利ICより約 20 分
北関東自動車道太田桐生ICより約 15 分
東北自動車道佐野藤岡ICより約 40 分
東武伊勢崎線足利市駅より車で約7分
JR両毛線足利駅より車で約 10 分
問合せ先:宝性寺 ☎0284-71-2743

【まゆ玉市】

虚空蔵菩薩を祀るこの寺は、1739年に虚空蔵堂を修復し、その時からこの祭りは始まったといわれます。昔は、「蚕や繭が育ちますように」と養蚕家のための行事でしたが、織物産業が盛んになると「家業がますます繁盛しますように」と商売繁盛を願うようになり、参道では「まゆ玉」が売られるようになりました。参道には「まゆ玉」の他にも出店があり毎年大勢の人で賑わいます。

例年、特に 11 時から 14 時位まで混雑が見られます。

日時:1月 13 日(金)午前9時～午後7時頃(毎年同日開催)
場所:徳正寺(足利市本城3丁目)
交通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約 10 分
JR両毛線足利駅より車で約 10 分
北関東自動車道足利 IC より約 15 分
東北自動車道佐野藤岡ICより約 35 分
問合せ先:徳正寺 ☎0284-21-5797

【閻魔大王大祭】

閻魔大王の座像(約2m)が有名で、「えんまさま」と呼ばれており、お堂の前に立つと、自動的に「えんまさま」のお姿が照らし出されます。近年、縁結びのパワースポットとして人気を集めており、また学生さんが合格祈願に訪れています。

毎年1月と8月の 16 日に大祭が開催され、この日は閻魔様もお休みで、地獄の釜の蓋が開く日と言われています。

例年、本堂ではご祈願やコンサート、また本堂近くの空き地では地元の新鮮な食材などが並ぶ「えんマルシェ」が行われますが、詳細につきましては決定次第お知らせいたします。

日時:1月 16 日(月)午前 10 時～午後8時頃(毎年同日開催)
場所:利性院(足利市井草町)
交通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩約 10 分
JR両毛線足利駅より徒歩で約 10 分
北関東自動車道足利 IC より約 10 分
東北自動車道佐野藤岡ICより約 30 分
問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【御筒粥(おつつがゆ)】(足利市指定 民俗文化財)

その年の作物の豊凶を占う珍しい神事です。氏子たちが大きな釜で粥を炊き、その中に葦の筒を入れ、筒の中に入った米粒・小豆等の入り具合でその年の農作物の豊凶を占います。

占いに使われた小豆粥を妊婦が食べると“安産”になるといわれ、今でもこの粥を妊婦に食べさせる風習が残っています。

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、詳細は12月頃決まる予定です。

日 時:1月15日(日)午後1時～

場 所:御厨神社(福富町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約25分

東北自動車道佐野藤岡ICより約30分

問合せ先:小堀宮司 ☎0284-71-0739

花 情 報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問合せのうえお出かけください。

問合せ先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利市観光まちづくり課観光・ロケツーリズム担当 ☎0284-20-2165

【ろう梅】

新春にかおり高い花を咲かせるろう梅は、黄色い蠟細工のような花が印象的です。

時 期:1月上旬～3月上旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)、鑢阿寺

【冬ボタン】

冬に咲くボタンは、雪囲いがされ、可愛い印象です。雪ん子のようにも見えます。

時 期:1月中旬～2月下旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

【寒椿・寒紅梅】

冬の冷たく乾いた空気を変えてくれる寒紅梅、春への一步を感じさせてくれる可愛い花をお楽しみください。

時 期:1月中旬～2月下旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

【福寿草】

早春に黄色い花を咲かせることから、江戸時代には、一番に春を告げるという意味で「福告ぐ草(ふくつぐそう)」と呼ばれていたそうです。

時 期:1月下旬～3月上旬

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

体 験

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前にご連絡をお願い致しております。現在、実演は中止をしております。)

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合先:足利市八木節連合会 ☎0284-71-1214

【年末年始(12月29日(木)～1月3日(火))の施設情報】

施設 \ 期日	29 (木)	30 (金)	31 (土)	1 (日)	2 (月)	3 (火)	問合先
太平記館	—	—	—	○	○	○	0284-43-3000
足利観光交流館(あし・ナビ)	○	○	○	△	○	○	0284-73-3631
足利まちなか遊学館	—	—	—	—	—	—	0284-41-8201

営業時間: ○・・・午前9時～午後5時 / △・・・午前10時～午後5時 / —・・・休業